



# 日本感染管理ベストプラクティス“Saizen”研究会 四国ブロック第1回セミナー レポート

2017年5月27日（土） 高知城ホール

## ○教育講演：市川先生・土井先生

市川先生の微生物学的視点での口腔ケアレクチャーは、日々の口腔ケアを見直す目からウロコの内容でした。  
土井先生はいつもの軽快トークで21回の爆笑を誘いながらも、環境清掃の重要性とベストプラクティスの活用をわかりやすく伝えてくれました。



## ○パネルディスカッション：四国各県のICN 4名

施設毎のベストプラクティス導入のいきさつや取り組み、その効果などの発表がありました。  
今年度からベストプラクティスに取り組む方は「ワーキンググループに参加することで他施設とのディスカッションができ、自施設の現状や問題がよくわかる」ことが印象的だと述べていました。

## ○ポスター発表&表彰式

各施設で考えた最善の感染対策、25演題が発表されました。  
会場内は南国の日差しに負けない熱気でいっぱいでした！

表彰式で受賞された方々は、苦労しながらも一所懸命取り組んだ成果と喜びを分かち合っていました。



## ○特別講演：藤田先生・賀来先生

「知っているとやっているとは違う！」「ちゃんとやってや!感染対策」藤田先生のおっしゃるとおりです。国際下痢疾患センターの感染対策のオチに会場は大きくなつていました。  
賀来先生は、感染症対策はもはや医療機関だけでなく、国や生物の枠を超えた『One World』で取り組むべき時代に来ていると警鐘を鳴らしていました。

